

中学校音楽科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点		
1	(1)	(a)	中田章		各 2 × 3		
		(b)	中田喜直				
		(c)	オルガン				
	(2)	※ 別紙 (計1枚)			3		
	(3)	※ 別紙 (計1枚)			10		
2	(1)	楽 曲 名	組曲「展覧会の絵」より「プロムナード」	作 曲 者 名	ムソルグスキー	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 4
	(2)	楽 曲 名	歌劇「アイーダ」より「凱行進曲」	作 曲 者 名	ヴェルディ		
3	(1)	小声で、声や音をひそめて		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 3		
	(2)	1つのパートを分けて					
	(3)	重々しい、荘重な、ゆるやかに遅い					
4	(1)	①	呂音と同じ運指の1オクターブ高い音のこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3		
		②	同じ音が続くとき、その都度吹き直さず押さえている指孔から指を一瞬離してすぐふさぐ等して音を区切る奏法。				
		③	楽器の音を、日本語のもつ固有の響きによって表すもの。				
	(2)	※ 別紙 (計1枚)		6			
5	(a)	シタール		二胡 もよい。 ソルナー もよい。	各 3 × 4		
	(b)	バグパイプ					
	(c)	アルファー					
	(d)	ズルナ					

70

1

中学校音楽科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点								
1	声や楽器の音のほか、自然界や日常生活の中で聴くことのできる様々な音。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7								
2	自己のイメージと音楽を形づくっている要素とをかかわらせながら、音のつながり方を試行錯誤して旋律をつくる活動。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8								
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五線譜</li> <li>・文字</li> <li>・絵</li> <li>・図</li> <li>・記号</li> <li>・コンピュータ</li> </ul>	3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 3								
2	<p>題材名 (言葉や音階の特徴を生かして、自分の住む地域のCMソングをつくろう)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>学習活動</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イメージをもち、即興的に音を出しながら創作する活動に主体的に取り組む。</li> <li>・実際に使用されている他地域のCMソングを聴く。</li> <li>・自分の住む地域のCMソングについてイメージをもつ。</li> <li>・地域のキャッチコピーのリズムや「レ」「ミ」「ソ」「ラ」「ド」の五音を使って、実際に音を出して確かめながら、表現したいイメージに合うような4小節の旋律をつくる。</li> <li>・自分がつくった旋律をワークシートに記録するとともに、今後の創作活動の見通しを立てる。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>第2時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構成を工夫し、表現したいイメージと関わらせて旋律をつくる。</li> <li>・実際に音を出して確かめながら、表現したいイメージに合うようなCMソングをつくる。</li> <li>・グループで、自分が工夫したいことやつくった音楽を言葉や演奏で紹介し合い、意見交換をする。</li> <li>・紹介したい地域の名所や名物をCMソングで伝えるために、自分がつくった旋律をどのように繰り返すかなど構成の工夫についての思いや意図をワークシートに書き、表現の工夫に取り組む。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>第3時間目</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な技能を身に付け、表現したいイメージにふさわしい旋律をつくる。</li> <li>・作品発表会に向けて、自分がCMソングで表現を工夫しようと思うことや自分がつくった旋律をどのように構成するかについての思いや意図を再確認する。</li> <li>・全体で作品発表会を開き、それぞれ自分がつくった作品を発表し合う。</li> <li>・演奏を振り返り自己評価を行うとともに、他者の表現についてよいと思ったことを交流する。</li> <li>・感じ取ったよさを生かして、自分の表現の工夫に再度取り組む。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	時間	学習活動	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ イメージをもち、即興的に音を出しながら創作する活動に主体的に取り組む。</li> <li>・実際に使用されている他地域のCMソングを聴く。</li> <li>・自分の住む地域のCMソングについてイメージをもつ。</li> <li>・地域のキャッチコピーのリズムや「レ」「ミ」「ソ」「ラ」「ド」の五音を使って、実際に音を出して確かめながら、表現したいイメージに合うような4小節の旋律をつくる。</li> <li>・自分がつくった旋律をワークシートに記録するとともに、今後の創作活動の見通しを立てる。</li> </ul>	第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構成を工夫し、表現したいイメージと関わらせて旋律をつくる。</li> <li>・実際に音を出して確かめながら、表現したいイメージに合うようなCMソングをつくる。</li> <li>・グループで、自分が工夫したいことやつくった音楽を言葉や演奏で紹介し合い、意見交換をする。</li> <li>・紹介したい地域の名所や名物をCMソングで伝えるために、自分がつくった旋律をどのように繰り返すかなど構成の工夫についての思いや意図をワークシートに書き、表現の工夫に取り組む。</li> </ul>	第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な技能を身に付け、表現したいイメージにふさわしい旋律をつくる。</li> <li>・作品発表会に向けて、自分がCMソングで表現を工夫しようと思うことや自分がつくった旋律をどのように構成するかについての思いや意図を再確認する。</li> <li>・全体で作品発表会を開き、それぞれ自分がつくった作品を発表し合う。</li> <li>・演奏を振り返り自己評価を行うとともに、他者の表現についてよいと思ったことを交流する。</li> <li>・感じ取ったよさを生かして、自分の表現の工夫に再度取り組む。</li> </ul>	<p>題材名は、問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。</p> <p>学習活動は、問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。</p>	64
	時間	学習活動									
	第1時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ イメージをもち、即興的に音を出しながら創作する活動に主体的に取り組む。</li> <li>・実際に使用されている他地域のCMソングを聴く。</li> <li>・自分の住む地域のCMソングについてイメージをもつ。</li> <li>・地域のキャッチコピーのリズムや「レ」「ミ」「ソ」「ラ」「ド」の五音を使って、実際に音を出して確かめながら、表現したいイメージに合うような4小節の旋律をつくる。</li> <li>・自分がつくった旋律をワークシートに記録するとともに、今後の創作活動の見通しを立てる。</li> </ul>									
第2時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 構成を工夫し、表現したいイメージと関わらせて旋律をつくる。</li> <li>・実際に音を出して確かめながら、表現したいイメージに合うようなCMソングをつくる。</li> <li>・グループで、自分が工夫したいことやつくった音楽を言葉や演奏で紹介し合い、意見交換をする。</li> <li>・紹介したい地域の名所や名物をCMソングで伝えるために、自分がつくった旋律をどのように繰り返すかなど構成の工夫についての思いや意図をワークシートに書き、表現の工夫に取り組む。</li> </ul>										
第3時間目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な技能を身に付け、表現したいイメージにふさわしい旋律をつくる。</li> <li>・作品発表会に向けて、自分がCMソングで表現を工夫しようと思うことや自分がつくった旋律をどのように構成するかについての思いや意図を再確認する。</li> <li>・全体で作品発表会を開き、それぞれ自分がつくった作品を発表し合う。</li> <li>・演奏を振り返り自己評価を行うとともに、他者の表現についてよいと思ったことを交流する。</li> <li>・感じ取ったよさを生かして、自分の表現の工夫に再度取り組む。</li> </ul>										
4			40								

中学校音楽科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	(1)	表層的に快い、きれいだといったことにとどまることなく、その音楽の内容を価値あるものとして自らの感性によって確認する主体的な行為のこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 8 × 2	
	(2)	・音楽のよさや美しさなどについて、音楽を形づくっている要素や構造などの客観的な理由をあげながら言葉で表すこと。 ・自分なりの感じ方、客観的な根拠、自分にとっての価値について述べること。	1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。		
3	2	・リズム、速度、音色など、着目する音楽を形づくっている要素を示して聴かせ、全体を通してそれらの変化を聴き取らせる。 ・「だんだん近づいてくる」などと感じる場面を取り出し、大きな変化を感じる音楽を形づくっている要素は何か聴き取らせる。 ・映画「ジョーズ」の映像を見せ、イメージをもたらす音楽を形づくっている要素や構造を考えさせる。 ・他の映画音楽を聴き、さまざまなイメージがどのような音楽を形づくっている要素から生み出されるか比較させる。 ・音楽を聴いて自分がどのように感じたか、また、それはなぜかを言葉で説明し合う場面を設けることで、他者の感じ方や解釈を参考にもう一度聴き取らせる。	2つ書かれていればよい。 問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	各 10 × 2	36
4	1	(a) 幅広い		各 2 × 5	30
		(b) 資質・能力			
		(c) 多様性			
		(d) 創意工夫			
		(e) 感性			
2	音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などを関連付けること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		
3	生徒が音楽に関する言葉を用いて、音楽によって喚起されたイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図などを相互に伝え合う活動。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10		

1

1

(2)



(3)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

4

(2)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。